

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 下水道課 シート No. ： 97 作成日： 2025. 5/15

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	V都市基盤の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	3 快適な都市環境の整備を進める	現在の下水道事業は、人口減少や少子高齢化の進行によって、使用料などの収入が減少する一方、物価高騰により支出が増加しています。そのため、決算上では純利益を出していますが、他会計からの繰入金を多く入れており、経営状態は必ずしも良いとは言えません。 よって、経営状態の改善のための目標を設定し、その目標達成のためのアクティビティ（活動）を推進していかなくてはなりません。	経営状態改善のため、3つの目標を設定します。 ①収入の増加 接続率を向上し、下水道使用料を増やすため、普及啓発活動を行います。その一方で、未収金の集金も行っていきます。 ②支出の減少 維持管理費増加に対応するため、ストックマネジメント事業や広域化・共同化事業を推進し、経営のスリム化を目指します。 ③経営戦略の見直し 既存の経営戦略と現状と比べて、再度検証し改定を行うことで、今後の経営健全化の指標とします。
	施策	5 下水道		
	施策内容	公共下水道事業運営の適正化		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	—		
事務事業名		公共下水道事業運営の適正化		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 6 予算額	R 6 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 6 活動・事業内容	指標（単位）	R 6 目標値	R 7 目標値		
			R 6 実績値	R 8 目標値		
市イベントでの普及啓発活動 （R 6・7・8）	ふるさとまつりにおいて、下水道PRブースを設置し、来場者に対し下水道に関するパンフレット・ノベルティの配布を行い普及促進に努めます。	下水道PRブース来場者数（人）	300	500	— 千円	— 千円
			581	500		
下水道受益者負担金の未収金催告訪問 （R 6・7・8）	下水道受益者負担金未納者に対し、書面による通知のほか訪問し対面での催告を行います。	—	—	—	— 千円	— 千円
			—	—		
下水道使用料の未収金夜間催告訪問 （R 6・7・8）	下水道使用料未納者に対し、書面による通知のほか訪問し対面での催告を行います。	—	—	—	— 千円	— 千円
			—	—		
ストックマネジメント事業の推進 （R 6・7・8）	下水道事業団と協定を締結し下水処理施設のストックマネジメント策定を進めます。	（式）	—	1	41,400 千円	41,209 千円
			—	—		
広域化・共同化事業の推進 （R 6・7・8）	下水道事業団と協定を締結し広域化共同化のロードマップを作成します。	（式）	—	1	5,900 千円	5,781 千円
			—	—		
下水道事業経営戦略の改定（R 6・7）	令和7年度の下水道事業経営戦略改定に向けて、基礎データの情報収集等を実施します。	（式）	—	1	2,704 千円	2,695 千円
			—	—		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 6 実績値
受益者負担金過年度未収金収入額（全体）	2,700,000 円	2,851,140 円
使用料未収金収入額（夜間集金先分）	50,000 円	59,732 円
維持管理費の削減・平準化を目標とした施設の統廃合（事業費執行率）	—	—

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
・受益者負担金催告訪問は、事前に訪問先の分析等をし、必要に応じて随時訪問することで、より少ない時間と人員で効果的に集金ができました。また、使用料催告訪問においても、委託業者と連携を密にし、効率的に集金することができました。 ・下水道事業団と協定を締結し、下水道施設の現状把握・リスク評価を実施しました。	☐ コスト	☐ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	・令和7年度に下水道事業経営戦略を改定し、計画的かつ合理的な経営をすることに繋げていきます。 ・受益者負担金及び使用料について、引き続き過年度未収金額の減少を目指します。 ・令和7年度にストックマネジメント計画を更新し施設の長寿命化・維持管理費用の削減・平準化を図ります。 ・令和7年度に下水道事業のロードマップを作成し予算の平準化・削減を推進します。			